

SPODフォーラム2012

「教養教育を担当する教員のための 授業づくり講座」

徳島大学 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

齊藤 隆仁

徳島大学 大学開放実践センター

吉田 博

ワークの流れ

1. 教養教育に関するミニレクチャー
2. アイスブレイク
 - グループで自己紹介、あなたが考える「教養」とは!?
3. ワーク1
 - 授業を通して伝えたいこと、授業実施の背景についてまとめる。
4. ワーク2
 - 授業の目的、目標を設定し、具体的に授業概要を計画する。
5. まとめ（参加者間での共有）

セミナーの目標

- 自身の考える「教養」について説明することができる。
- 自校における教養教育のニーズを考えることができる。
- ニーズに合った教養教育授業の目的・目標を設計することができる。

講師自己紹介

講師紹介

- 氏名：吉田 博
- 所属：徳島大学 大学開放実践センター
- 住所：徳島市南常三島町1-1
- Tel: 088-656-9865
- e-mail: hiroshi-yoshida@tokushima-u.ac.jp

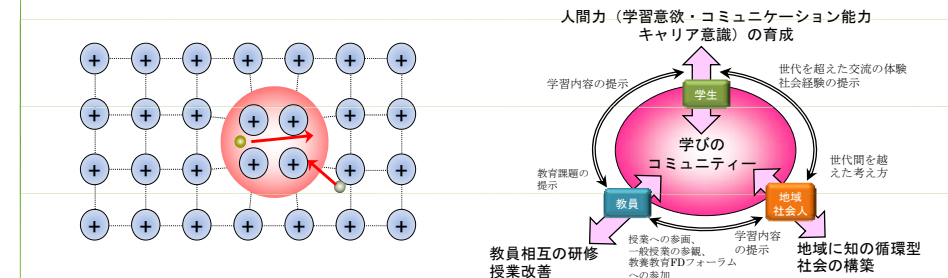
□ 仕事

- 徳島大学 全学FD推進プログラムの企画・運営・講師
- SPOD-FD担当者・研修講師
- 教養教育科目「学生視点から大学教育を考える」を担当
- 公開講座（数学・算数）
- 学生支援・学生FDチームのサポーター教員

講師紹介

氏名：斉藤隆仁
 所属：徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
 住所：徳島大学総合科学部（徳島市南常三島町1-1）
 Tel: 088-656-7232
 e-mail: saito@ias.tokushima-u.ac.jp

研究：固体物理学 炭化物、ホウ化物超伝導体の核磁気共鳴による研究
 教育：学部 総合科学部総合理数学科物質総合コースの物理学
 大学院 地域科学専攻基盤科学分野（理系）
 全学共通教育 センター教員（学びのコミュニティ部会）



教養教育に関する ミニレクチャー

教養教育の流れ

- 明治以来、専門教育・職業教育を重視するドイツ型大学を規範として帝国大学を整備
- 旧制高校（1894年）：ビルドゥング（独）人格形成 ⇒ 教養主義
- 第2次世界戦後の新制大学：アメリカ式の一般教育

人文・社会・自然の3系列均等履修→民主社会における政治、経済、社会の諸関係を正しく理解し、社会の改善・進歩に貢献でき、科学的な判断力を持つ人材の養成（米国起源の理想主義的な運動）
- 大学設置基準の大綱化（1991）によりやせ細る教養教育
- 世界のグローバル化、日本の少子化、ユニバーサル化における新しい大学教育

⇒ シラバス、GPA、学生による授業評価、FD・キャリア教育義務化、学士課程教育、AP・CP・DP、大学の機能別分化、単位の実質化、大学改革実行プラン

全国の教養教育の例

新潟大学

専門教育の基礎科目を広く教養教育に活用

岡山大学

学生参画FDによる授業創設

- * 平成20年度開講：「君は頭が良くなりたいか～発信力～」
- * 平成18年度開講：「知ってるつもり？コンビニ」
- * 平成18年度開講：「ドラえもん科学」

徳島大学

社会性形成科目群(体験を通して、人間力や社会性を身につける)

「ウェルネス総合演習」、「共創型学習」、「ヒューマンコミュニケーション」

地域社会人ボランティアを活用した教養教育「学びのコミュニティー」

文部科学省 質の高い大学教育推進プログラム(平成20年度～平成22年度)

学士力

項目	内容
知識・理解	(1) 多文化・異文化に関する知識の理解 (2) 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解
汎用的技能	(1) コミュニケーション・スキル 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。 (2) 数量的スキル (3) 情報リテラシー (4) 論理的思考力 (5) 問題解決力
態度・志向性	(1) 自己管理能力 (2) チームワーク、リーダーシップ (3) 倫理観 (4) 市民としての社会的責任 (5) 生涯学習力
統合的な学習経験と創造的思考力	これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

AP, CP, DP

AP アドミッション ポリシー (学生受入方針)

数学を含む自然科学の基礎学力を身につけ、数理・物質科学の各分野を専門的に学び、その知識を基に従来の枠組みにとらわれず、自然界における諸現象を総合的かつ論理的に学ぼうとする意欲のある学生を求めています。

CP カリキュラム ポリシー

総合理数学科では、豊かな人間力を基盤として、広い視野と自然科学に関する深い専門性を兼ね備えた人材を養成することをめざし、以下のようなカリキュラムを編成している。

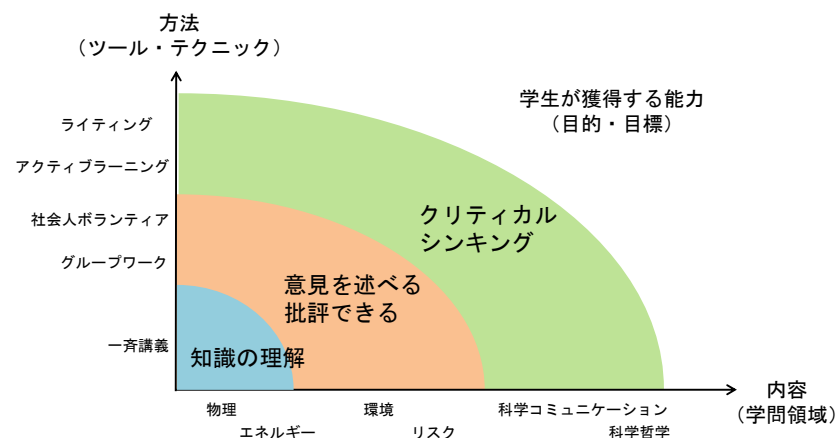
1. 全学共通科目を通じて・・・
2. 学部共通科目
3. 学科共通科目
4. コース専門科目
5. 総合科学テーマ科目
6. 卒業研究

DP ディプロマ ポリシー (学位授与に関する基本的な方針)

1. **知識・理解** 数理科学・物質科学に関わる幅広い知識を習得し、それに基づく論理的思考力を身に付ける。
2. **汎用的技能** (1) 正しい日本語の運用能力、すなわち文章を論理的に書き、理解する能力、他人とコミュニケーションする能力、プレゼンテーション能力を身につける。
(2) 国際共通語としての外国語の基本的運用能力とそれに基づく国際感覚を身につける。
3. **態度・志向性** 豊かな人間性、高い倫理観を身につけ、自分で問題を発見し、解決する態度を身につける。
4. **統合的な学習経験と創造的思考力** 総合的な視点と知識を身につけ、現代社会の諸問題を柔軟に分析する能力と技能、情報発信能力をもち、社会の発展に貢献できる。

徳島大学総合科学部総合理数学科を例に

授業設計における座標軸



アイスブレイク

アイスブレイク

所属、氏名

①印象に残っている学生時代に受けた
教養の授業とは！？

②あなたにとっての「教養」とは！？

- グループ内で1人 **3分**ずつ話す。
- 所属、氏名、各お題に対するエピソード

教養教育の授業作成 ワークショップ

ワークの手順

1. 教養教育の授業であなたが学生に学んでほしいこと、授業計画の背景を書き出す。(ワークシート1-①)
2. 1.で書き出した内容から、特に大切にしたいものを選び出す。(ワークシート1-②)
3. グループ内でワークシート1の共有をする。
4. ワーク1で決めた項目について、取り上げるテーマ、授業方法を決める。(ワークシート2-①)
5. 授業の目的・目標を設定する。(ワークシート2-②)
6. 具体的に授業計画を立てる。(ワークシート2-③)
7. 全体で共有をする。

ワークのアウトカム

□ 個人ワーク→ワークシートの完成

- 自身が授業を通して伝えたいことを整理することができる。
- 授業を計画する上での背景（カリキュラム内の位置づけ、求められるスキルなど）を整理することができる。
- 教養教育の授業目的・目標を設計することができる。
- 目的・目標に沿った授業計画を考えることができる。

□ グループ内、全体での共有

- 他者に伝えることで、自身の考えの要点を整理することができる。
- 他者の考えを聞き、共有することで、新しい視点に気づくことができる。

ワークの手順

1. 教養教育の授業であなたが学生に学んでほしいこと、授業計画の背景を書き出す。（ワークシート1-①）
2. 1.で書き出した内容から、特に大切にしたいものを選び出す。（ワークシート1-②）
3. グループ内でワークシート1の共有をする。
4. ワーク1で決めた項目について、取り上げるテーマ、授業方法を決める。（ワークシート2-①）
5. 授業の目的・目標を設定する。（ワークシート2-②）
6. 具体的に授業計画を立てる。（ワークシート2-③）
7. 全体で共有をする。

ワークの手順

1. 教養教育の授業であなたが学生に学んでほしいこと、授業計画の背景を書き出す。（ワークシート1-①）
2. 1.で書き出した内容から、特に大切にしたいものを選び出す。（ワークシート1-②）
3. グループ内でワークシート1の共有をする。
4. ワーク1で決めた項目について、取り上げるテーマ、授業方法を決める。（ワークシート2-①）
5. 授業の目的・目標を設定する。（ワークシート2-②）
6. 具体的に授業計画を立てる。（ワークシート2-③）
7. 全体で共有をする。

ワークの手順

1. 教養教育の授業でああなたが学生に学んでほしいこと、授業計画の背景を書き出す。(ワークシート1-①)
2. 1.で書き出した内容から、特に大切にしたいものを選び出す。(ワークシート1-②)
3. グループ内でワークシート1の共有をする。
4. ワーク1で決めた項目について、取り上げるテーマ、授業方法を決める。(ワークシート2-①)
5. 授業の目的・目標を設定する。(ワークシート2-②)
6. 具体的に授業計画を立てる。(ワークシート2-③)
7. 全体で共有をする。

グループで共有

□ 共有の仕方

- 各自がまとめたワークシートをもとに、1人1分程度説明をし、質疑応答を行う。
- 質疑は、1人の発表につき1回、質問する人がいない場合は発表者の右の人がコメントをする。

□ 発表を聞く際に注目するところ

- 整理の仕方は適切か？
- 自分のプログラムの参考になるところはないか？

ワークの手順

1. 教養教育の授業でああなたが学生に学んでほしいこと、授業計画の背景を書き出す。(ワークシート1-①)
2. 1.で書き出した内容から、特に大切にしたいものを選び出す。(ワークシート1-②)
3. グループ内でワークシート1の共有をする。
4. ワーク1で決めた項目について、取り上げるテーマ、授業方法を決める。(ワークシート2-①)
5. 授業の目的・目標を設定する。(ワークシート2-②)
6. 具体的に授業計画を立てる。(ワークシート2-③)
7. 全体で共有をする。

授業設計に関する ミニレクチャー

授業の目的

- ▣ 存在意義【purpose】
 - なぜこの授業が存在するのか。
 - この授業はなぜ必要なのか。
- ▣ 現実的なもの
 - 学生が、授業終了後に「こんなことができる」「こんなことを知ることができる」というイメージを抱けるように書く。
- ▣ 学習者を主語として書く。
- ▣ 複雑な概念を持つ動詞を用いて表現する。
 - 理解する、適用する、認識する、評価する、習得する、判断する、考察するなど
- ▣ 学習する知識や技能が、将来どのように利用されるか、明らかにする必要がある。

授業の目的（例）

- ▣ 自分自身の食生活を見直しその課題を見出すために、食生活を食嗜好と地域性の視点から考える。

『徳島大学FD推進ハンドブック』
- ▣ 職場の人材育成担当者として働くために必要となる基本的知識・スキル・態度を身につける。

佐藤浩章（2009）『産業教育論シラバス』

授業の目標

- ▣ 達成目標【goal】
- ▣ 学習者を主語として書く。
- ▣ この授業の終了段階で、できるようになってほしい行動を「○○できる」という形式で書きます。
- ▣ 観察可能な行動で表現する。
- ▣ 具体的な概念を持つ動詞を用いて表現する。
 - 列挙する、述べる、記述する、指摘する示す、表現する、実施する、調べるなど
- ▣ 一つの文章に一つの独立した内容を書く。
- ▣ 目標行動が評価される「条件」、「基準」、「行動」を明示する。

授業の目標（例）

- ▣ 印象派絵画の芸術的価値について、1980年までの通説と1990年以降の通説の違いを踏まえて、説明することができる。

『大学教員のための授業方法とデザイン』
- ▣ 初対面の相手に対し、英語で3分間自己紹介をすることができる。
- ▣ 日本の一般家庭で作られている料理の中から任意の3品を60分以内に作ることができる。

授業方法、教科書、参考書

- 講義、演習、実験、実習、グループワークなどの方法と展開の仕方
- 講義形式の場合、どんな資料（ビデオ、スライド、標本等）を用いるのか
- 実験、実習の場合、どのようなグループ分けをするのか
- 教科書を使用するかどうかを記載し、使用する場合、教科書名、著者名、出版社、出版年、価格、入手方法について
- 授業に関する参考書、参考資料、webページ

成績評価

- 方法
 - 授業の目標・目的が達成できたかどうかを判定するような成績評価方法を行う。
 - 学年末試験だけでなく、小テストやレポート課題などを併用するとよい。その際には、基準や配分割合も明記する。
- 基準
 - 成績評価の基準や配点を明確にしておく。
 - 評価内容が授業の到達目標と合致していること。

その他の注意事項

- 私語をしない
- 携帯電話の電源
- 欠席、遅刻について
- 受講する上でのルール

など

ワークの手順

1. 教養教育の授業であなたが学生に学んでほしいこと、授業計画の背景を書き出す。（ワークシート1-①）
2. 1.で書き出した内容から、特に大切にしたいものを選び出す。（ワークシート1-②）
3. グループ内でワークシート1の共有をする。
4. ワーク1で決めた項目について、取り上げるテーマ、授業方法を決める。（ワークシート2-①）
5. 授業の目的・目標を設定する。（ワークシート2-②）
6. 具体的に授業計画を立てる。（ワークシート2-③）
7. 全体で共有をする。

ワークの手順

1. 教養教育の授業でああなたが学生に学んでほしいこと、授業計画の背景を書き出す。(ワークシート1-①)
2. 1.で書き出した内容から、特に大切にしたいものを選び出す。(ワークシート1-②)
3. グループ内でワークシート1の共有をする。
4. ワーク1で決めた項目について、取り上げるテーマ、授業方法を決める。(ワークシート2-①)
5. 授業の目的・目標を設定する。(ワークシート2-②)
6. 具体的に授業計画を立てる。(ワークシート2-③)
7. 全体で共有をする。

セミナーの目標

- 自身の考える「教養」について説明することができる。
- 自校における教養教育のニーズを考えることができる。
- ニーズに合った教養教育授業の目的・目標を設定することができる。

参考文献

- ・ 徳島大学大学教育委員会（2002）『徳島大学FD推進ハンドブック』
- ・ 佐藤浩章編（2011）『大学教員のための授業方法とデザイン』
- ・ 愛媛大学教育・学生支援機構（2007）『もっと授業をよくするために』
- ・ 池田輝政他（2001）玉川大学出版部『成長するティップス先生』
- ・ 愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（2008）『FD担当者必携マニュアル』第二版